
第153回 学長定例記者会見

日時：令和5年2月16日（木）11：00～11：30

場所：広島大学 霞キャンパス 広仁会館 中会議室

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTubeによる録画配信を実施

【発表事項】

1. 原爆放射線医科学研究所 新着資料紹介展示
被爆者を生き抜く：資料から見えてくる兒玉光雄さん

2. 大学院医系科学研究科 クラウドファンディング公開
「失明リスク減へ スマホ接続眼底カメラを開発」

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：令和5年3月下旬

場所：広島大学 東広島キャンパス

令和 5 年 2 月 16 日

原爆放射線医科学研究所 [新着資料紹介展示]
被爆者を生き抜く：資料から見えてくる兒玉光雄さん

このたび、原爆放射線医科学研究所（原医研）でお預かりしました、故・兒玉光雄さんの資料の展示を企画いたします。

兒玉さんは 1932 年に広島市荒神町で生まれ、1945 年 8 月 6 日、広島県立広島第一中学校にて被爆しました。その後、20 を超えるがんと向き合い、被爆を自ら問い、考え、伝え、「被爆者」として生き抜き、2020 年秋に死去されました。

一口に原爆被爆者と言っても、その生き方や生き様は多様であるので、ある特定の人のみを象徴的に挙げて、それをもって「被爆者」全体を語る、ということとはなるべく避けた方が良いでしょう。そのうえで、私たちは、原爆を、また被爆するということを、そして原爆被爆者のことをなるべく多く受け継ぐ責務があります。今回は、そういった流れの中で、広島大学の卒業生でもあった兒玉さんとのご縁があり、企画することといたしました。

多くの取材を受け、伝承者の育成や自らの証言活動にも積極的だった兒玉さんについては、既に多くが語られています。そんななか、つたない私共の展示でできることはあまりありません。そこで今回は、「資料から見えてくる」という点に力点を置きます。ご自身による語りや兒玉さんの被爆体験を伝えたいと力を尽くしている皆様に敬意を表しつつ、そのうえで、預らせていただいた資料が『自ら発する』兒玉さん像、特に、医学のこと、科学者との交流、広島大学との関係などに着目したいと思えます。

1. タイトル [新着資料紹介展示] **被爆者を生き抜く：資料から見えてくる兒玉光雄さん**
2. 場所 広島大学医学部医学資料館(広島市南区)
3. 期間 **2023 年 3 月 10 日(金)～5 月 26 日(金)(予定)**
[時間]10:00～16:00 [休館]医学資料館に準ずる
※入場無料・事前予約不要
※コロナ感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。
4. 備考 会期開始直前にマスコミ関係者向けの内覧会を予定しています。

【お問い合わせ先】

原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部
助教 久保田 明子
TEL:082-257-5877



被爆者を 生き抜く

【新着資料紹介】

資料から見えてくる

兒玉 光雄 さん

兒玉 光雄 …1932年広島市荒神町生まれ。1945年8月6日、広島県立広島第一中学校にて被爆。20を超えるがん向き合い、被爆を問い、考え、伝え、「被爆者」として生き抜く。2020年死去。

写真：兒玉 光雄 さん

兒玉光雄資料より
「西オーストラリアのワイルドフラワーに包まれて」

【期間】 2023年 3月10日(金) ~ 5月26日(金)

入場無料

10:00~16:00 (土曜日・日曜日・祝日閉館)

【会場】

広島大学医学部 医学資料館

広島大学霞キャンパス (大学病院前)

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所

共催 放射線災害・医科学研究拠点
(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

協力 広島大学医学部

企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部

【ご注意】

新型コロナウイルスの感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合がございます。
あらかじめご了承ください。

問い合わせ ☎082-257-5877 / kohosha@hiroshima-u.ac.jp 解析部事務

令和 5 年 2 月 16 日

広島大学大学院医系科学研究科 クラウドファンディング公開
「失明リスク減へ スマホ接続眼底カメラを開発」

広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学（眼科）は、広島大学クラウドファンディング（READYFOR 株式会社と連携）で眼底カメラの開発へ向けたプロジェクトを公開しました。

「広島から挑戦 失明リスクの早期発見を可能にする眼底カメラの開発を」

（公開期間 2023 年 2 月 16 日～4 月 14 日 目標額 200 万円）



日本における失明原因の上位を占める緑内障や糖尿病網膜症といった眼底疾患は、自分で見えにくいなと感じたときには手遅れの状態となることが多く、自覚症状のない早期に眼底検査を行い診断・治療を開始する必要があります。そのため、いつでもどこでも誰でも気軽に簡単に検査を受けられる方法が求められています。

今回開発するのは、スマートフォン接続型の眼底カメラで撮影した画像をインターネット経由で AI や専門の眼科医が遠隔診断することで、多くの患者さんに早期からの眼科医療を届けることを目指します。しかしこの取り組みは、できる限り安価により多くの方々に活用いただけることを目標としているため、1 台数千万円するような医療機器の開発に比べて、大きな投資・寄付をいただくことは難しい内容になっています。そこでクラウドファンディングに挑戦し、いただいた寄附によってスマートフォン（スマホ）接続型カメラと、それを用いて撮影した画像の遠隔読影システムの開発に使わせていただきたいと思います。

広島県は中山間地域や島しょ部が多く、高齢化の進むそういった地域には世界的にも専門医が少ないのが現状です。スマホ接続眼底カメラは医師以外の看護師や保健師も操作が可能で、人手不足の解消にも寄与できると期待しています。皆様のご寄附、また応援の言葉で研究を前に進める力をいただければと考えています。何卒よろしく願いいたします。



(スマホ接続型の眼底カメラでの撮影イメージ)

【お問い合わせ先】

大学院医系科学研究科視覚病態学（眼科）

木内良明／水野優

[TEL:082-257-5246](tel:082-257-5246)

E-mail:ymizuno@hiroshima-u.ac.jp

目標金額 200万円 2023年4月14日(金)まで

スマートフォン接続型

眼底カメラ

の開発で

早期の眼底検査を可能にし、

失明のリスクを減らしたい



広島大学

＼広島大学眼科がクラウドファンディング挑戦中／

広島から挑戦

失明リスクの早期発見を可能にする眼底カメラの開発を

※本プロジェクトはAll or Nothing方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご寄付は返金いたします。
※本プロジェクトへのご寄付は、広島大学へのご寄付となり税制優遇の対象になります。詳細はREADYFORのプロジェクトページをご覧ください。

広島大学大学院 医系科学研究科 視覚病態学（眼科）教授の木内良明です。

日本における失明原因の上位を占める緑内障や糖尿病網膜症といった眼底疾患は、自分で見えにくいなど感じたときにはすでに手遅れの状態となってしまうことが多く、早期に眼底検査を行い診断・治療を開始する必要がある疾患です。

今回、我々はスマートフォン接続型の眼底カメラを使って眼科医が遠隔で読影し、眼科医療につなげていく仕組みの構築に挑戦し、多くの患者さんに眼科医療を届けることを目指します。

しかしこの取り組みは、できる限り安価により多くの方々に活用いただけることを目標としているため、1台数千万円するような医療機器の開発に比べて、大きな投資・寄付をいただくことは難しい内容になっています。そこで今回クラウドファンディングに挑戦し、いただいたご寄付によって、スマートフォン接続型眼底カメラの作成とそれを用いて撮影した動画/画像の遠隔読影システムの開発に使用させていただきます。

皆様のご寄付、また応援のお言葉で、研究を前に進める力をいただければと考えております。よろしくお願いたします。

広島大学眼科 レディーフォー



READYFOR

お問い合わせ先：広島大学 木内良明/水野優

<https://readyfor.jp/projects/hiro dai-ganka>

EMAIL : ymizuno@hiroshima-u.ac.jp

TEL : 082-257-5246



ご寄付の方法



WEBサイトからのご寄付の方

右記サイトから、クレジットカード
または銀行振込でご寄付ください

広島大学眼科 レディーフォー



<https://readyfor.jp/projects/hirodai-ganka>



申込書を利用してのご寄付の方

下記の申込書にご記入の上、メールまたは郵送にてご提出ください。
ご記入いただいたご連絡先に、銀行振込口座の情報をご連絡いたしますのでお振込ください。

お申し込み先

<実行者名>木内良明/水野優

<電話>082-257-5246

<住所>〒734-0037 広島県広島市南区霞1-2-3

<メール>yimizuno@hiroshima-u.ac.jp

コース一覧

※各コース金額にシステム手数料（220円/税込）を追加した金額が合計の寄付金額となります。
複数のコースを選択する場合も、お支払いごとに220円/税込となります。

コース番号	金額	内容
1	3,000円	【3,000円 寄付コース】 ■寄付金控除証明書 ■お礼のメール
2	10,000円	【10,000円 寄付コース】 ■寄付金控除証明書 ■お礼のメール ■結果報告レポート※2024年3月 ■結果報告レポートにお名前掲載（希望制、個人名のみ、サイズ小）
3	30,000円	【30,000円 寄付コース】 ■寄付金控除証明書 ■お礼のメール ■結果報告レポート※2024年3月 ■結果報告レポートにお名前掲載（希望制、個人名のみ、サイズ小）
4	50,000円	【50,000円 寄付コース】 ■寄付金控除証明書 ■お礼のメール ■結果報告レポート※2024年3月 ■結果報告レポートにお名前掲載（希望制、個人名のみ、サイズ中）
5	100,000円	【100,000円 寄付コース】 ■寄付金控除証明書 ■お礼のメール ■結果報告レポート※2024年3月 ■結果報告レポートにお名前掲載（希望制、個人名のみ、サイズ中）
6	300,000円	【300,000円 寄付コース】 ■寄付金控除証明書 ■お礼のメール ■結果報告レポート※2024年3月 ■結果報告レポートにお名前掲載（希望制、個人名・企業名可、サイズ大）
7	500,000円	【500,000円 寄付コース】 ■寄付金控除証明書 ■お礼のメール ■結果報告レポート※2024年3月 ■結果報告レポートにお名前掲載（希望制、個人名・企業名可、サイズ大）

申込書

かな		ご寄付 内容	番（円コース）	口
氏名				
住所	〒			
電話番号		メール アドレス		
結果報告レポートに掲載するお名前（該当コースのみ） *ご希望でない場合は、「なし」とご記入ください				
広島大学HP等への情報の公開を希望しますか？ （お名前、寄付金額、寄付受入教職員名を想定しています）		希望する	/	希望しない
該当する方に○をつけてください		個人	/	法人

ご返金先

※万が一プロジェクトが不成立だった場合、下記口座にお振込みいただいたご寄付をご返金いたします。

金融機関		口座番号	
支店名		口座名義	